

# 令和元年度事業報告書

## 1. 音楽録音事業に関する調査及び研究

### (1) 音楽録音事業の基盤となる音楽産業の現状及び将来性についての調査及び研究

① 関連団体、音楽業界誌などの資料により、音楽制作の市場規模などの調査を実施した。

### (2) スタジオ使用の実態調査及び研究

① 8月、音楽録音事業に関する調査報告書を編纂するため、法人正会員社及び準会員社の売上規模、稼働状況等に関する「第18回音楽スタジオ事業経営実態調査」を実施した。

調査内容：売上の推移、稼働時間と時間単価の推移、スタジオ使用料、スタジオ使用料の見直し、ブッキング業務の現状について、エンジニアの雇用について、労務管理と従業員の労働環境について、クライアントのスタジオ使用に関する内容について、海外からのスタジオ使用問い合わせ現状、スタジオ事業の問題点、スタジオ運営・営業上の対応に苦慮する問題点

### (3) 音楽録音事業従事者の雇用に関する調査及び研究

① 3月、法人正会員社、準会員社、賛助会員社を対象とし、過去1年間に於ける事務職、営業職、技術職に区分した新規採用調査を実施した。

② 3月、法人正会員社、準会員社を対象とし、担当業務別の正社員数、契約社員数、アルバイト数、マネジメント契約エンジニア数及びインターンシップ受け入れ数について、雇用内容を把握するため、雇用形態調査を実施した。

## 2. 音楽録音事業に関する研修会及びセミナー等の開催

### (1) スタジオ運営に関する研修会等の開催

① 4月5日（金）、働き方改革関連法の残業時間規制法の施行により発生する問題への対応を目的とするセミナー「働き方改革関連法の解説と実務対応」を東京ウィメンズプラザ 視聴覚室に於いて実施した。

講師：三平 和男氏 特定社会保険労務士

参加者：法人正会員11社23名、個人正会員1名、賛助会員3社4名、  
外部各企業2社2名 計30名

② 法人正会員社及び準会員社を対象としたスタジオ運営に関する情報交換会を3回開催し、様々な会員間、また会員外スタジオとの情報及び課題について検討し、情報の共有化を図った。

第19回：5月16日（木）参加者：12社 13名、個人正会員1名 於：JAPRS 事務局

第20回：8月22日（木）参加者：13社 14名、個人正会員1名 於：JAPRS 事務局

第21回：2月20日（木）参加者：14社 22名、個人正会員1名 於：ビクタースタジオ  
(会員外 4社 7名含む)

③ 11月21日（木）、主にスタジオ経営者及びスタジオマネージャーを対象として、スタジオ運営の実態に関する問題点を把握し、対応策を検討することを目的とする「第14回スタジオ意見交換会」を東放学園音響専門学校・渋谷校舎3F3A1に於いて実施した。

司会進行：清水 三義氏 株式会社青葉台スタジオ

明地 権氏 株式会社サウンド・シティ

参加者：法人正会員10社15名、準会員2社3名、個人正会員1名 計19名

### (2) スタジオ施設に関する見学会の開催

① 賛助会員を対象とし、スタジオ設立からの沿革、音響設計に関する基本コンセプト等を把握することを目的とする「スタジオ見学会」を、会員外である大学の協力により実施した。

第16回：12月16日（月）東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス

参加者：12社22名 個人正会員1名

### 3. 音楽録音事業に関する機材及び技術の調査並びに人材育成

(1) エンジニアの質的向上を図るため、国内の専門家を講師とする研修会等の実施

①5月29日（水）、株式会社メディア・インテグレーション ROCK ON PROセミナールームに於いて、「Avid Pro Toolsセミナー」を実施した。

内 容：I. オーディオ、ビデオ共に Avid 機器の本年度のハードウェア、ソフトウェアのリリース予定情報に関して

II. Pro Tools 2019 のプレビュー説明

III. Media Composer 2019 のプレビュー説明

講師：前田 洋介氏 株式会社メディア・インテグレーション

参加者：法人正会員2社2名、個人正会員1名、賛助会員1社3名、ポニーキャニオン2名 計8名

②6月24日（月）、東放学園音響専門学校 清水橋校舎 2S1教室に於いて、「第3回デジタル伝送技術勉強会」を実施した。

内 容：I部「デジタル伝送を使ったビジネスの現状と今後」

(1) NABショーにおける各社デジタル伝送動向及び今後について

講師：前田 洋介氏 / 株式会社メディア・インテグレーション

(2) IP伝送の実例紹介

講師：柳 秀和氏 オタリテック株式会社 営業部第一課 課長

II部「4K動画+ハイレゾ・ストリーミング配信の紹介」

講師：遠藤 真氏/NTTエレクトロニクス（株）

映像コンポーネント事業本部ビジネス戦略室

（協力：ラディウス株式会社）

・ラディウス NeSTREAM 4K動画配信+ハイレゾ・ストリーミング配信紹介&デモ

参加者：法人正会員10社14名、個人正会員2名、賛助会員6社10名、JAREC2名、レコードメーカー3社4名、音事連1名、外部各企業1名 計34名

③7月2日（火）、東放学園音響専門学校 渋谷校舎2階 2A4教室に於いて、ラウドネス勉強会「音創りとラウドネスレベル調整との関係」を実施した。

内 容：I部「音創りとラウドネスレベル調整との関係」

(1) 「ポストプロダクションエンジニアによるレベル調整に関する考え方の実際と留意点等」

講師：村越 宏之氏 株式会社IMAGICA Lab エンターテイメント事業本部

映像制作部 リンクスグループサウンドスーパーバイザー

オブザーバー：末次 亮介氏 株式会社サウンド・シティ

ポストプロダクション事業部 MA課 課長

(2) 「ストリーミング配信における音量調整の現状」

講師：池上 卓也氏 株式会社USEN コンテンツプロデュース統括部

編成部 サウンドデザイン課

(3) 「レベル調整の考え方と実際(K特性による音量変化)」

講師：山口 哲氏 株式会社メディア・インテグレーション

MI事業部 General Manager

参加者：法人正会員6社11名、個人正会員1名、準会員1社3名、賛助会員1社2名、JAREC6名、JAPRS関係者1名、レコードメーカー2社4名 計28名

④9月10日（火）、東京藝術大学 千住キャンパス 新館3F Studio A&Bに於いて、JAPRS技術セミナー「アンビソニックス・3Dオーディオ勉強会」を実施した。

内 容：(A) 講義1：「3Dオーディオの歴史と Ambisonics の概要」

講師：東京藝術大学・音楽学部・音楽環境創造科 亀川 徹 教授  
(B) 録音セッション (パーカッションのソロ演奏を各種収録方法より録音)  
録音監修：株式会社 dream window 代表 深田 晃 氏  
パーカッション演奏：梯 郁夫氏

※ 試聴タイム Studio A - 5ch / Studio B - 22ch

(C) 講義2：「IEM plug-in を用いた Spot マイクの Ambisonics 処理」

講師：株式会社エムアイセブンジャパン B2B セールスディレクター 三橋 武氏

(D) 講義3：「Ambisonics の特徴と有効な使い方」

講師：株式会社アコースティックフィールド 代表取締役 久保 二郎氏

(E) 試聴コーナー

HOA (higher-order ambisonics)、IEM Plug-in による再生の体験試聴

・ 5ch (Studio A コントロールルームにて)

・ 22ch (Studio B にて)

参加者：法人正会員4社4名、準会員1社1名、賛助会員5社11名、JAREC4名、  
レコードメーカー1社2名 計22名

⑤ 3月5日(木)、NHK放送センター480会議室に於いて、デジタル伝送技術によるスタジオワーク構築をテーマとする「第31回NHK技術交流会」の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染防止から延期とした。

(2) エンジニアを対象とした機器メーカーによる新規開発技術及び新機器についての研修会

① 11月13日(水)より15日(金)まで、幕張メッセに於いて開催された「Inter BEE 2019」については、11月14日(木)、JAPRS賛助会員からの出展20社を対象とし、正会員及び準会員エンジニアと賛助会員各社の製品情報、技術情報等の把握及び交流を目的とした「Inter BEE 2019賛助会員社ブースツアー」を実施した。

内 容：<出展社>

- ・(株)アコースティックフィールド
- ・(株)アユート
- ・(株)エムアイセブンジャパン / (株)シンタックスジャパン
- ・オタリテック(株)
- ・(株)オーディオテクニカ
- ・(株)音響ハウス
- ・(有)グルーヴ
- ・(株)サンフォニックス
- ・(株)静科
- ・シュア・ジャパン(株)
- ・(株)ズーム
- ・ゼンハイザージャパン(株)
- ・ソリッド・ステート・ロジックジャパン(株)
- ・タックシステム(株)
- ・ヒビノインターサウンド(株)
- ・ミックスウェーブ(株)
- ・メモリーテック(株)
- ・日本音響エンジニアリング(株)
- ・日本音響エンジニアリング(株)
- ・(株)メディア・インテグレーション

参加者：法人正会員3社6名、個人正会員2名、賛助会員2社2名、JAREC4名、JAPRS 関連社1名 計15名

(3) 資格認定制度に基づく第18回JAPRS認定サウンドレコーディング技術認定試験の実施

① 4月20日(土)、「2019年度版問題集／技術資料集」(B5判193頁)を発行した。

② 4月、受験申請書、Web用メールフォーム等を作成し、団体受験及び個人受験申請者に対応した。

③ 5月、資格認定制度委員会内に問題作成小委員会を組織し、認定試験問題を作成した。

④ 6月、受験申請者に対する受験票及び団体受験会場に対する問題用紙、マークシート、受験者リスト等を作成送付し、実施に向けて対応した。

⑤ 7月7日(日)、賛助会員専門学校及び会員外専門学校の協力を得、札幌、仙台、郡山、新潟、

東京、名古屋、大阪、広島、福岡の9地区22ヶ所の団体受験会場に於いて認定試験を実施した。  
受験申請者数：589名、受験者数：520名

⑥8月、受験者に対して認定証カード及び成績証明書を作成し、交付した。

⑦3月、令和2年年7月に実施する「第19回JAPRS認定サウンドレコーディング技術認定試験」を控え、告知ポスター及び受験案内パンフレット並びに団体受験マニュアルを作成し、団体受験候補先及び会員スタジオに配布した。

(4) 資格認定制度に基づく第16回JAPRS認定Pro Tools技術認定試験の実施

①4月、資格認定制度委員会内に「2019年度版問題集／技術資料集」作成小委員会を組織し、問題集の作成を開始した。

②5月、9月8日（日）に実施する認定試験を控え、告知ポスター、受験案内パンフレット、受験申請書、団体受験マニュアル、Web用メールフォーム等を作成し、団体受験及び個人受験申請者に対応した。

③6月20日（木）、初級編、中級編及び技術資料集に区分された「2019年度版問題集／技術資料集」（B5判233頁）を発行した。

④7月、資格認定制度委員会内に問題作成小委員会を組織し、認定試験問題を作成した。

⑤8月、受験申請者に対する受験票及び団体受験会場に対する問題用紙、マークシート、受験者リスト等を作成し、実施に向けて対応した。

⑥9月8日（日）、賛助会員専門学校及び会員外専門学校の協力を得、札幌、仙台、新潟、小山、東京、横浜、名古屋、大阪、広島、博多の10地区24ヶ所の団体受験会場に於いて認定試験を実施した。

受験申請者数：655名、受験者数：572名

⑦10月、受験者に対して成績証明書、認定証カードを作成し、交付した。

(5) 専門学校の学生を対象とした研修会等の実施

①5月17日（水）、国際アート&デザイン大学校学生を対象とし、下記の内容による「特別セミナー」をサウンドスタジオAstに於いて実施した。

内 容：1. スタジオ見学会

担当：奥原 秀明氏 株式会社サウンドスタジオ

2. サウンドメイキングの基礎と心構え、プロ録優秀作品の音源試聴

担当：高田 英男氏 JAPRS会長

3. 質疑応答

参加者：31名

②5月18日（土）、法人正会員スタジオ7社及び賛助会員1社及び関連会社1社の出展により、音楽スタジオ及び関連する企業への就職を目指す専門学校2年生以上を対象とし、各社の概要、業務内容、求人内容、望まれる人材等についての説明会「2019年JAPRS企業説明会」を専門学校ESP東京・12号館に於いて実施した。

参加者：14校 152名

参加企業：株式会社エムアイティギャザリング、株式会社音響ハウス、株式会社サウンドスタジオ、株式会社サウンド・シティ、株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント、株式会社バーディハウス、株式会社ミキサーズラボ、株式会社メディア・インテグレーション、ヒビノ株式会社

- ③エンジニア人材育成プログラムとして、正会員スタジオ2社および賛助会員専門学校1校の協力により、アシスタントエンジニアを目指す専門学校2年生以上及び音楽・芸術系大学生（名古屋地区）を対象に、レコーディングスタジオに於ける現役エンジニアによる「2019年レコーディングセミナー（スタジオワーク編）」（旧称：新プロ・エンジニア養成セミナー）を東京、名古屋、大阪地区に於いて実施した。

[東京・大阪地区実施内容]

- ①セミナーで使用するレコーディングスタジオの説明
- ②音源データの取り込みについて
- ③ボーカルダビング作業を想定して、セッティングに対する心構え、歌詞カードの準備、カウンター付け方～ボーカルエディット作業の実演および体験
- ④レコーディングエンジニアになるための音創りの基本、音創りに求められる感性、音源の試聴
- ⑤ミキシング作業の実践および解説
- ⑥スタジオワークを行なうために（総括）

[名古屋地区実施内容]

- ① セミナー進行に関する説明
  - ・マイクセッティング
  - ・音源データの取り込み
  - ・マイク回線チェック
  - ・エンジニアの音創りへのサポート
  - ・ドラム&アコースティックギターのダビング
  - ・ラフミックス
- ② 一連の作業の流れの中で、エンジニアおよびアシスタントエンジニアからのアドバイス（セッティングやその他準備に対する考え方、心構え）
- ③ スタジオワークを行なうために（総括）

[2019年レコーディングセミナー（スタジオワーク編）①]

日 程：6月8日（日）  
東京地区会場：サウンドインスタジオ Bst  
エンジニア：高田 英男氏 株式会社ミキサーズラボ  
アシスタントエンジニア：稲垣 杏理氏 株式会社サウンドインスタジオ  
サポ ー ト：小幡 準二氏 株式会社サウンドインスタジオ  
参 加 者：6校 21名

[2019年レコーディングセミナー（スタジオワーク編）②]

日 程：6月15日（土）  
大阪地区会場：スタジオグルーヴ Ast  
エンジニア：高田 英男氏 株式会社ミキサーズラボ  
アシスタントエンジニア：金子 拓人氏 有限会社グルーヴ  
サポ ー ト：及川 拓馬氏 〃  
参 加 者：3校 37名

[2019年レコーディングセミナー（スタジオワーク編）③]

日 程：6月29日（土）  
名古屋地区会場：専門学校名古屋ビジュアルアーツ 5号館1F Pixy Studio  
エンジニア：中山 佳敬氏 株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント  
アシスタントエンジニア：伊藤 鈴夏氏 〃  
参 加 者：2校 26名

- ④2月22日（土）、音楽スタジオのアシスタントエンジニアを目指している専門学校1年生を対象として、スタジオ業界に精通する方々及び現役エンジニアを講師とし、アシスタントからレコーディングエンジニアに至る経験値、望まれる人材像、必要となる役割等について具体的に把握してもらうことを目的とした講演会「2020年JAPRS新人エンジニア育成研修会」を王子・北とぴあ 6Fドームホールに於いて実施した。

内 容：Ⅰ部(1)「スペシャリストを目指して」

講師：高田 英男氏 JAPRS会長

講師：中山 佳敬氏 株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント  
ビクタースタジオ チーフエンジニア

(2)「レコーディングスタジオとはどんな場所か？」

講師：山田 幹朗氏 株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント  
ビクタースタジオ エンジニアグループ ゼネラルマネージャー

(3)「今スタジオではどんな人材が求められているか？」

講師：明地 権氏 株式会社サウンド・シティ 営業部長

Ⅱ部(1)「アシスタントエンジニア特別コーナー」

司会：阿部 純也 東放学園音響専門学校

エンジニア：安中 龍磨 国際音楽・ダンス・エンタテインメント専門学校 OB

／(株)バーディハウス

塚本 晃妃 東放学園音響専門学校 OG

／(株)サウンドインスタジオ

渡邊 啓太 専門学校ESPエンタテインメント東京 OB

／(株)ミキサーズラボ

(2)「専門学校委員会からのインフォメーション」

担当：物井 謙行 専門学校 ESP エンタテインメント東京

受講者：10校 57名

(6) 専門学校に於ける職業実践専門課程に関する教育課程編成への支援・協力

①文部科学省より平成26年4月から従来の専修学校(専門課程)の上位に位置する新たな枠組みとして「職業実践専門課程」を新設することが内示されたが、JAPRS賛助会員に加盟する専門学校が、この専門課程を申請するに当たり、認定基準となる教育課程(カリキュラム)の編成、演習、実習等の内容、教員研修、学校評価等に対するアドバイザーとして、当協会に対する教育課程編成委員就任の要請があり、今期は、以下の各氏が就任し、専門学校に協力した。

仙台コミュニケーションアート専門学校 目等 進氏 個人正会員

東放学園音響専門学校 高橋 邦明氏 法人正会員 (株)キング関口台スタジオ

#### 4. 音楽録音事業に関する技術及び仕様の標準規格の調査及び策定

(1) 音楽録音に伴う音楽コンテンツデータ構築の標準化

①関連団体である演奏家権利処理合同機構MPNとの業務提携契約により、平成24年6月に開始したミュージシャンのレコーディングデータ収集を目的とする、会員スタジオに於けるMPN BOXの設置を継続した。また、4月上旬にrefホームページのリニューアル及びrefアプリのWeb化を実施し、制作費用については、三者の負担として協力した。

(2) スタジオ運営に関する規程・フォーマットの標準化

①1993年に作成のJAPRS「音楽スタジオ使用規程モデル」は、2017年に一部改訂がされたが、昨今の状況を踏まえ一部改訂案を検討し、来期の告知ポスター、チラシを作成・配布、およびJAPRSウェブサイトを使用規程モデルの詳細をアップに向けて、スタジオ使用者に対する周知・徹底活動の準備を行った。

②スタジオ運営に関する問題点、内容の共有化を図るため、5月、8月および2月に情報交換会を実施した。

(3) 音楽制作に係る関連三団体による制作環境の再構築と標準化

①東京音楽事業者連盟及び一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPNとともに設立した「レコーディング三者協議会」に於いて、音楽録音業務に係る様々な検討課題の整理・標準化活動を推進した。

(4) 音響設計に関する基礎知識の標準化

- ①平成18年1月に発行したJAPRS推奨「音楽録音スタジオにおける音響設計ガイドブック」第7刷、第8刷を継続して頒布した。

(5) DVD-Videoの音声規格に関する標準化

- ①平成21年9月に発行した「サウンドエンジニアのためのDVD-Video音声基礎講座」を継続して頒布した。

5. 音楽録音事業に関する内外関連機関等との交流及び協力

(1) 音楽制作関連団体との情報交換を行う協議会等の開催

- ①関連団体である一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPN及び東京音楽事業者連盟と共に、三団体が共有する音楽制作に関連する課題解消を目的としたレコーディング三者協議会(ref)に於ける月例の連絡会議に参画した。

- ②一般社団法人日本ポストプロダクション協会(JPPA)が主催し、編集技術者の質的向上を目的として制定し、映像・音響作品及び編集技術者を推奨し表彰する「JPPA AWARDS2019」を後援した。

- ③6月29日(土)、関連団体である一般社団法人日本オーディオ協会(JAS)が主催し、東京国際フォーラムに於いて開催された「OTOTEN」に於いて、平成31年3月に開催された第30回NHK技術交流会を題材としたセミナー「第30回 JAPRS/NHK技術交流会 墨田川高校吹奏楽部 録音セミナーレポート」を実施した。

講師：内沼 映二氏 JAPRS名誉会長

ゲスト：鶴飼 奈民氏 墨田川高等学校 指揮者・音楽監督

司会進行：高田 英男氏 JAPRS会長

- ④中国交流プロジェクトの一環として、実際に中国(北京)の音楽ビジネスに携わる各企業を訪問し、顔を合わせてのビジネスミーティング、今後に向けてのネットワークの構築、そして中国伝媒大学との人材育成に向けた技術交流を進めるため、東京音楽事業者連盟、(一社)演奏家権利処理合同機構MPNからの参加もいただき、11月10日(日)～11月13(水)到北京訪問ツアーを実施した。

ビジネスミーティング/音楽制作会社：2社、音楽配信会社：1社、書籍出版会社：1社

技術ミーティング /中国録音技師会音楽委員会、中国伝媒大学(モダンスカイスタジオにて)、中国録音技師会音響芸術専門委員会(金田音楽スタジオにて)

(JAPRS：高田会長、内藤事務局長、正会員社から4名、音事連：3名、MPN：2名 計11名)

- ⑤一般社団法人電子情報技術産業協会(JEITA)が主催し、11月13日(水)～15日(金)に幕張メッセに於いて開催された第55回2019国際放送機器展「Inter BEE 2019」に協力した。

6. 音楽録音事業に関する表彰制度の拡充

(1) 日本プロ音楽録音賞の実施

- ①「日本プロ音楽録音賞」は、平成5年に当協会が制定した「JAPRS録音賞」を出発点とし、音楽制作、録音に対する認識を高め、音楽産業の更なる質の向上、録音技術者の地位の確立などを目的として平成6年より実施されているもので、一般社団法人日本音楽スタジオ協会(JAPRS)、特定非営利活動法人日本レコーディングエンジニア協会(JAREC)、一般社団法人日本オーディオ協会(JAS)及び一般社団法人日本レコード協会(RIAJ)並びに一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPNの5団体が主催し、経済産業省の後援、日本放送協会(NHK)、一般社団法人日本民間放送連盟(JBA)、株式会社ステレオサウンドの協賛及びサウンド&レコーディング・マ

ガジン、CDジャーナル、ステレオサウンド、プロサウンド、レコード芸術の賛助並びにNPO法人ミュージックソムリエ協会、株式会社レーベルゲート/mora、オンキヨー株式会社/e-onkyo music、株式会社ソニー・ミュージックコミュニケーションズ、株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメント、株式会社サウンドスタジオ、株式会社ジェネレックジャパン、株式会社ミキサーズラボ/ワーナーミュージック・マスタリング、ミックスウェーブ株式会社、東放学園音響専門学校等の協力により「第26回日本プロ音楽録音賞」を実施し、12月6日（金）音の日のイベントとして授賞式および音の日のつどいパーティーを半蔵門 TOKYO FMホールにて行った。厳正な審査の結果、各部門1作品の最優秀賞作品とベストパーフォーマー賞として1アーティストおよびニュー・プロミネントマスター賞2作品が選定された。部門別の受賞は以下のとおり。

#### 【最優秀賞】

##### ◆CD部門 「クラシック、ジャズ、フュージョン」

《作品》「ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番/ピアノ・ソナタ第2番」(COCQ-85458)より

「ラフマニノフ：ピアノ協奏曲第3番より第3楽章」

反田恭平(ピアノ) アレクサンドル・スラドコフスキー(指揮) ロシア・ナショナル管弦楽団 CD  
日本コロムビア株式会社より発売

ミキシング・エンジニア：塩澤 利安 日本コロムビア株式会社

マスタリング・エンジニア：佐藤 洋 日本コロムビア株式会社

##### ◆CD部門 「ポップス、歌謡曲」

《作品》「POP VIRUS」(VICL-65085)より「Pop Virus」 星野源 CD

株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメントより発売

ミキシング・エンジニア：渡辺 省二郎 株式会社 レインボーエンタテインメント

マスタリング・エンジニア：内田 孝弘

株式会社 JVC ケンウッド・ビクターエンタテインメント

##### ◆ハイレゾリューション部門 「クラシック、ジャズ、フュージョン」

《作品》「ViVa The Four Seasons (A. Vivaldi Concerto N0-1\_N0-04)」より

「Summer MOV-03」

UNAMAS Strings Sextet フォーマット：192kHz/24bit 5.1ch

配信元：e-onkyo music、mora

ミキシング&マスタリング・エンジニア：沢口 真生 有限会社沢口音楽工房

システム・エンジニア：伊藤 仁 株式会社シンタックスジャパン

システム・エンジニア：宮下 清孝 株式会社JION（慈音）

##### ◆ハイレゾリューション部門 「ポップス、歌謡曲」

《作品》「新自分風土記 I～望郷篇～」より「長崎小夜曲」

さだまさし フォーマット：96kHz/24bit 2ch

株式会社JVCケンウッド・ビクターエンタテインメントより発売

配信元：e-onkyo music、mora

ミキシング・エンジニア：三浦 克浩 有限会社ジェニュイン

マスタリング・エンジニア：吉良 武男 株式会社テイチクエンタテインメント

アシスタント・エンジニア：中内 茂治 株式会社音響ハウス

##### ◆放送部門 「2chステレオ」

※該当作品なし

##### ◆放送部門 「マルチchサラウンド」

《作品》「SHIBUYA NOTE Presents Nulbarich -A STORY-」より

「Super Sonic」 Nulbarich



日本放送協会 UHDTV 5.1ch 2019年9月23日放送  
ミキシング・エンジニア：柳谷 智章 日本放送協会  
フロアー・チーフ：桐原 麻美 日本放送協会

◆アナログディスク特別賞

《作品》「MIXER' S LAB SOUND SERIES Vol.3」(SSAR-036~037)より

「モーニン」 角田健一ビッグバンド

株式会社ミキサーズラボより発売 30cm 33回転

カッティング・エンジニア：北村 勝敏 株式会社ミキサーズラボ

ワーナーミュージック・マスタリング

◆ベストパフォーマー賞

《作品》「森羅十二象」(ONL-11)より 「モンゴル草原」岡林 信康 CD

株式会社ディスクユニオンより発売

◆ニュー・プロミネントマスター賞

《作品》「涙と祈り (Tears and Prayers)」より「エレジー (Elegy for solo marimba)」

名倉 誠人 フォーマット：192kHz/24bit 5.1ch (オリジナル 9.0ch)

株式会社オクタヴィア・レコードより発売

ミキシング&マスタリング・エンジニア：入交 英雄 株式会社WOWOW

《作品》「Orb」より「Lenna」 Miyu Hosoi

フォーマット：96kHz/24bit 5.0ch (オリジナル22.0ch)

Salvaged Tapesより発売

ミキシング・エンジニア：蓮尾 美沙希 株式会社WOWOW

## 7. 音楽録音事業に関する情報収集及び提供

### (1) 会報の発行

①会報誌「JAPRS」を6月に初夏号、1月に新春号として発行した。

初夏号内容：平成31年JAPRS新年会

JAPRS技術セミナー「アナログ・レコードカッティングの実際」

2019年JAPRS新人エンジニア研修会研修会レポート

第3回中華圏セミナー「中国クライアントとの取引」

第30回NHK技術交流会レポート「吹奏楽生録セミナー」

JAPRSセミナー「働き方改革関連法の解説と実務対応」実施報告

会員動向

新春号内容：会長年頭挨拶

2019年JAPRS企業説明会レポート

Avid Pro Toolsセミナーレポート

2019年JAPRSレコーディングセミナー(スタジオワーク編)レポート

令和元年度通常総会、懇親会および30周年記念表彰レポート

第18回JAPRS認定「サウンドレコーディング技術認定試験」実施報告

第3回デジタル伝送技術勉強会「最新デジタル伝送の現状と今後」実施報告

ラウドネス勉強会「音創りとラウドネスレベル調整との関係」実施報告

CD高音質技術勉強会「UHQC D/MQA-CD」実施報告

賛助会員交流会

第16回JAPRS認定「Pro Tools技術認定試験」実施報告

「アンビソニックス・3Dオーディオ勉強会」実施報告

第31回JAPRSゴルフコンペ

中国交流プロジェクト北京視察ツアーレポート

Inter BEE 2019 賛助会員社ブースツアーレポート  
第26回日本プロ音楽録音賞授賞式レポート  
第26回日本プロ音楽録音賞審査委員講評  
「音の日のつどいパーティー」レポート  
会員動向

(2) 技術資料集の発行

① 4月20日(土)、2019年度版「サウンドレコーディング技術認定試験問題集／技術資料集」(B5判193頁)を発行した。

技術資料集内容：1. 電気の基礎知識  
2. 規格表  
3. 定番の音響機器  
4. 音楽に関わる基礎知識  
5. 録音の歴史  
6. 音楽スタジオ関連年表

② 6月20日(木)、2019年度版「Pro Tools技術認定試験問題集／技術資料集」(B5判233頁)を発行した。

技術資料集内容：A. Pro Tools概要  
B. オーディオレコーディング・編集  
C. ミキシング  
D. Pro Toolsシステム・シンク・MIDIなど

③ 3月19日(木)、録音に関わる協会技術マニュアル「サウンドレコーディング技術概論・2020年版」を発行した。

(3) インターネットの有効的な活用の推進

① 情報公開、情報伝達の普遍的な手段となっているインターネットの利用については、会報・会員リスト・協会活動情報・インフォメーション等の情報を更新した。また資格認定制度に基づく技術認定試験の出願の際、個人受験者用にWebのメールフォームを開設し対応した。

URL <https://www.japrs.or.jp>

E-mail [japrs@japrs.or.jp](mailto:japrs@japrs.or.jp)

② JAPRSホームページ上に情報公開を行った。

掲示内容：1. 定款  
2. 役員名簿  
3. 社員名簿  
4. 事業報告書  
5. 収支計算書  
6. 貸借対照表  
7. 事業計画書  
8. 収支予算書

8. 前各号に掲げるもののほか、本会の目的を達成するために必要な事業等

(1) 会員の入会促進

① 未加入音楽スタジオ及び機器メーカー等に協会資料を送付する等の活動を実施した。本年度の新加入者は、賛助会員12社であった。

(2) 本会の社会的認知を進めるための音楽業界誌・雑誌新聞等を利用した広報活動

① 株式会社oricon ME発行の「コンフィデンス(12月31日発行・新年特別号)」に、巻頭特集“2020LEADER’S MESSAGE”として会長年頭挨拶を出稿した。

(3) 会員相互の親睦会及び関連団体との交流活動の実施

- ① 6月6日（木）、明治記念館に於いて、通常総会に引き続き懇親会を開催し、会員及び招待者との親睦、情報交換を行った。参加者：88名
- ② 8月6日（火）、渋谷・南国ダイニングに於いて、賛助会員及び法人正会員、個人正会員との情報交換、親睦を目的として賛助会員交流会を開催した。参加者：43名
- ③ 10月18日（金）、大厚木カントリークラブ 桜コースに於いて、会員及び関係者を対象とした第31回JAPRSゴルフコンペを開催した。参加者：33名
- ④ 12月11日（水）、お茶の水ホテルジュラク 2F「孔雀の間」に於いて、会員を対象とした「第23回JAPRS忘年会」を開催した。参加者：56名
- ⑤ 1月22日（水）、明治記念館 1F「若竹の間」に於いて、会員及び関連団体幹部を対象とした新年賀詞交換会を開催した。参加者：107名

#### (4) 主たる会議開催

##### I. 総会

- ① 令和元年通常総会
  - 期 日：6月6日（木）
  - 場 所：明治記念館 1F「千歳の間」
  - 議 案：1. 平成30年度収支決算書（案）について  
2. 令和元年度収支予算書（案）について

##### II. 理事会

- ① 5月9日（木） 第22回理事会
  - 場 所：新宿文化センター 4F 第1会議室
  - 議 案：1. 平成30年度事業報告書（案）及び収支決算書（案）について  
2. 令和元年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について  
3. 社団法人化30周年内部顕彰について  
4. 令和元年度通常総会の開催について  
5. その他（会員の入退会、理事退任等について）
- ② 6月6日（木） 第23回理事会
  - 場 所：明治記念館 1F「かしわ・あやめの間」
  - 議 案：1. 各委員会経過報告  
2. その他（事務局体制変更等について）
- ④ 1月22日（水） 第24回理事会
  - 場 所：明治記念館 1F「はぎ・さくらの間」
  - 議 案：1. 各委員会経過報告  
2. その他（会員の入退会、理事退任について）

##### III. 幹部会（場所は、記載以外事務局）

- ① 4月26日（金） 第1回
  - 議 案：3月度収支、4月度収支予定、各委員会報告、平成30年度収支計算書について、令和元年度収支予算書（案）について、その他
- ② 7月29日（火） 第2回
  - 議 案：6月度収支、7月度収支予定、各委員会報告、その他
- ③ 9月26日（木） 第3回
  - 議 案：8月度収支、9月度収支予定、各委員会報告、その他
- ④ 11月28日（木） 第4回
  - 議 案：10月度収支、11月度収支予定、各委員会報告、その他
- ⑤ 2月26日（水） 第5回
  - 議 案：1月度収支、2月度収支予定、各委員会報告、その他（幹部会の進行に関する検討など）